

— 会 告 —

第28回日本核医学技術学会総会学術大会プログラム概要

学会長 福喜多 博 義

大会長 三 宮 敏 和

各 位

第28回日本核医学技術学会総会学術大会は、千葉市「幕張メッセ」にて下記の通り開催いたします。本大会は初の日本核医学会との合同開催です。これまでの大会にも増して充実した時間を過ごしていただくため両実行委員会一同鋭意準備をしております。

記

1. 会 期：平成20年10月24日（金）・25日（土）・26日（日）
2. 会 場：幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）
JR 京葉線・武蔵野線 海浜幕張駅より徒歩5分
3. 参加登録費：会員 10,000円、非会員 15,000円
学部生・学生 2,000円（大学院生除く）
4. 交 流 会：日本核医学会との合同
会場：幕張メッセ コンベンションホールB
5. 事 務 局：〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学病院 核医学検査室
第28回日本核医学技術学会総会学術大会実行委員会
TEL 03-3353-1211（内線 62520）
実行委員会事務局 E-mail: jsnmt28th-office@umin.ac.jp
第28回総会ホームページ URL: <http://www.jsnmt28.umin.ne.jp/>

プログラム内容

1. 合同企画：
 - 1) 合同開会式
 - 2) 開会講演
司会 米倉 義晴（第48回日本核医学会総会 会長）
三宮 敏和（第28回日本核医学技術学会総会学術大会 大会長）
「核医学の過去・現在・未来」（仮）
遠藤 啓吾（日本核医学会 理事長）
（群馬大学）

「核医学技術の進歩」

福喜多博義（日本核医学技術学会 学会長）

（国立国際医療センター国府台病院）

3) 特別講演

司会 松本 政典（熊本大学）

「量子線で探る物質の究極—分子原子から素粒子核へ—」（仮）

江尻 宏泰（大阪大学 名誉教授）

4) 合同シンポジウム

「異分野の融合がもたらす新たな世界」

5) PET 核医学セミナー（仮）

6) 合同薬剤調整セミナー

臨床現場における放射性医薬品の薬剤調整

司会 河村 誠治（久留米大学病院）

薬剤調整セミナー 1.

立木 一博（東邦大学医療センター大森病院）

薬剤調整セミナー 2.

齋藤 京子（北里大学）

7) オープニングレセプション

8) 交流会

9) 市民公開講座

平成20年11月 9 日（日） 千葉市文化交流プラザ

2. 教育講座：

教育講座 1.

司会 片渕 哲朗（岐阜医療科学大学）

「心臓核医学の画像処理を基礎から見直す」（仮）

櫻井 実（日本医科大学付属病院）

教育講座 2.

司会 高橋 正昭（中村記念病院）

「脳血流 SPECT の定量性について」

小倉 利幸（札幌麻生脳神経外科病院）

3. 大会長指名講座：

大会長指名講座 1.

デジタルファントムの活用について

司会 小野口昌久（金沢大学大学院）

「プロジェクトの概要」

尾川 浩一（法政大学）

「基礎編（性能評価用）」

本村 信篤（東芝メディカルシステムズ）

「臨床編（脳・心臓用）」

森 一晃（虎の門病院）

大会長指名講座 2.

核医学領域におけるマルチベンダーシステムについて

司会 神宮司公二（北里大学病院）

「マルチベンダ環境下の相互運用性と核医学領域の現状—IHE という考え方は核医学領域の情報統合にも有用か？」

松田 恵雄（埼玉医科大学総合医療センター）

4. 卒後教育プログラム：

基礎講座 1.

司会 杉林 慶一（関西医科大学付属枚方病院）

「核医学技師に必要な知識と実践」

大西 英雄（県立広島大学大学院）

基礎講座 2.

司会 飯田 恭人（東京大学医学部附属病院）

「核医学検査に必要な安全管理と安全点検」

山田 正人（金沢大学医学部附属病院）

5. 国際交流フォーラム（仮）：

6. ワーキンググループ報告：

ワーキンググループ報告 1.

「がん FDG-PET 撮像法のガイドライン作成 WG 報告」（仮）

ワーキンググループ報告 2.

「RI 医薬品の取り扱いに関する調査研究 WG 報告」（仮）

7. シンポジウム：

核医学画像の標準化への道のり

司会 柳沢 正道（日本メジフィジックス）

織田 圭一（東京都老人総合研究所）

1. FDG-PET 画像の標準化

PET 装置の性能面に関して

鈴木 一史（獨協医科大学病院）

PET 検査の臨床面に関して

大崎 洋充（国立がんセンター がん予防・検診研究センター）

2. SPECT 画像の標準化

脳血流 SPECT に関して

増田 安彦（旭川赤十字病院）

心筋 SPECT に関して

長木 昭男（倉敷中央病院）

8. 一般研究発表：



発表者へのご案内

一般演題：口演発表者へ

- 発表時間は発表 7 分、討論 3 分の計10分です。スライド枚数に制限は設けませんが、時間厳守でお願いいたします。
- パソコン（一面投影）を使用する発表に限ります。スライド機材、OHP 等は準備しておりませんのでご注意ください。
- 使用 OS は、Microsoft Windows に限らせていただきます。Macintosh のデータ・PC 本体の持込には、対応いたしかねますので予めご了承ください。
- 事務局で用意する講演会場内のパソコンの OS は Windows XP・Vista、アプリケーションは PowerPoint 2003・2007 です。パソコン画面の解像度は 1,024×768 です。
- 発表時の PowerPoint の操作は各自でお願いいたします。

1. 発表原稿の作成

- ①原則としてマイクロソフトの Windows XP・Vista 上の PowerPoint 2003・2007 で発表データを作成し、USB メモリ^{注1}もしくは CD-R メディア^{注2}にてファイルをご持参ください。また、PC 本体の持込も可能です。
- ②Windows 2000・NT 等の XP 以前の OS にて作成された場合は、Windows XP・Vista 上の PowerPoint 2003・2007 で動作を確認してからメディアをお持ち込みください。
- ③文字化けやレイアウトの変化を防ぐために、以下のフォントをなるべく使用してください。その他のフォントを使用する場合はフォントをファイルに埋め込んでください。
 - 日本語：MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・MSP 明朝
 - 英語：Century・Century Gothic・Arial・Times New Roman
- ④ファイル名は「演題番号_筆頭演者名.ppt (Windows 2007 の場合は .pptx)」としてください。(例：11VB7_発表太郎.ppt) 注「.ppt」「.pptx」は拡張子（英数半角）です。
- ⑤動画を使用される場合は、以下の条件を必ず守ってください。さらにバックアップおよびトラブル対策のため、PC 本体もご持参ください。
 - Windows XP・Vista および Windows Media Player 9 の初期状態に含まれるコーデックスで再生できる 512 MB 以下の動画ファイルで、拡張子は wmv・avi・mpg のいずれかにしてください。(形式は wmv を推奨します。)
 - 動画などのファイルを全ての発表データと同一のフォルダに入れ、動画を作成した PC とは別の PC 上の Windows XP・Vista+PowerPoint 2003・2007 で動作を確認の上、USB もしくは CD-R のメディアにてファイルをご持参ください。

2. 発表データの受付

- ①発表の1時間前までには必ずプレビューセンターにメディア（USBメモリ^{注1}，またはCD-R^{注2}）もしくはPC本体を持参してください。なお，講演会場への直接PC本体・メディアを持ち込むことはご遠慮ください。
- ②会期2日目以降の午前中にご発表される演者の先生方は，できるだけ，会期1日目の午後以降，発表前日までに受付をお済ませください。
- ③プレビューセンター備え付けのモニター，もしくは，パソコン（Windows PC）にセットして発表データを確認してください。プレビューセンターでの発表データ修正はできません。

WindowsのPC本体をお持ち込みの場合は，プロジェクト接続用ケーブルの端子「ミニ D-sub15 ピン」（下図参照）との接続可能な専用の変換アダプタ（コネクタ）およびACアダプタを必ず持参してください。

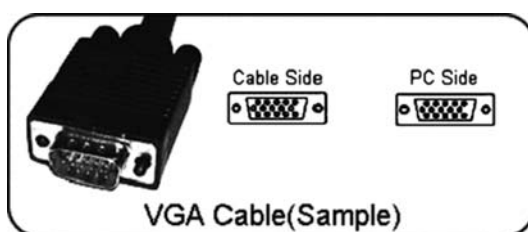
注1：【USBメモリ】Windows XP・Vista 標準ドライバで動作可能なものとしてください。

（CD-ROM等からドライバのインストールは不要のもの）

注2：【CD-R】CD-Rのみの受付になります。CD-R/WやDVDは対応しません。追記モードではなく，ディスクアットライトワンスモードで記録して持参ください。なお，CD-Rの書き込みはハイブリッド（ISO9660）フォーマットをご使用ください。パケットライトなど特殊な機能は読めない原因になりますのでご使用にならないでください。

※メディアを介したウイルス感染の事例がありますので，最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。

※事務局で用意するのは，通常のミニ D-sub15 ピン（下の写真）に対応する端子のみとなります。



特に SONY VAIO Note C1・SR・GT・U 等の一部機種はモニター出力の変換コネクタが必要になります。忘れずに持参してください。